

目次

はじめに……………(水本 和実)…………… i

第I部

戦争の非人道性をどう裁くか

第1章 国際刑事法の発展の歴史……………(福井 康人)…………… 3

第2章 ジェノサイド条約起草過程にみる虚と実

——国際正義と主権尊重の狭間で……………(吉川 元)…………… 27

第3章 核兵器使用と戦争犯罪

——戦争犯罪処罰に至るまでの国際法上の

関門(上)……………(真山 全)…………… 49

第4章 核兵器使用と戦争犯罪

——戦争犯罪処罰に至るまでの国際法上の

関門（下）

（真山 全）

75

第5章 国際人道法とは

（小池 政行）

95

第Ⅱ部

日本の戦争の非人道性

第6章 満州事変と「一夕会」

（川田 稔）

119

第7章 生物・化学兵器と旧日本軍の毒ガス兵器

（水本 和実）

143

第Ⅲ部

戦後処理をめぐる諸問題

第8章 ニュルンベルク裁判と戦後ドイツ

（竹本真希子）

167

第9章	戦争被害受忍論と戦後補償制度……………	(直野 章子)……………	189
第10章	安倍外交は「戦後処理問題」を解決しつつあるか？		
	《講演録》……………	(東郷 和彦)……………	213
執筆者一欄……………			244

* 本書所収の各論は、執筆者個人の見解であり、広島平和研究所を代表するものではありません。